

TMCM-6110 によるステッピングモータ駆動マニュアル

2014/07/08

関口 貴令

O. Version History

2014/07/08: (Ver.01) スタートアップを追加

I. ハードウェア準備

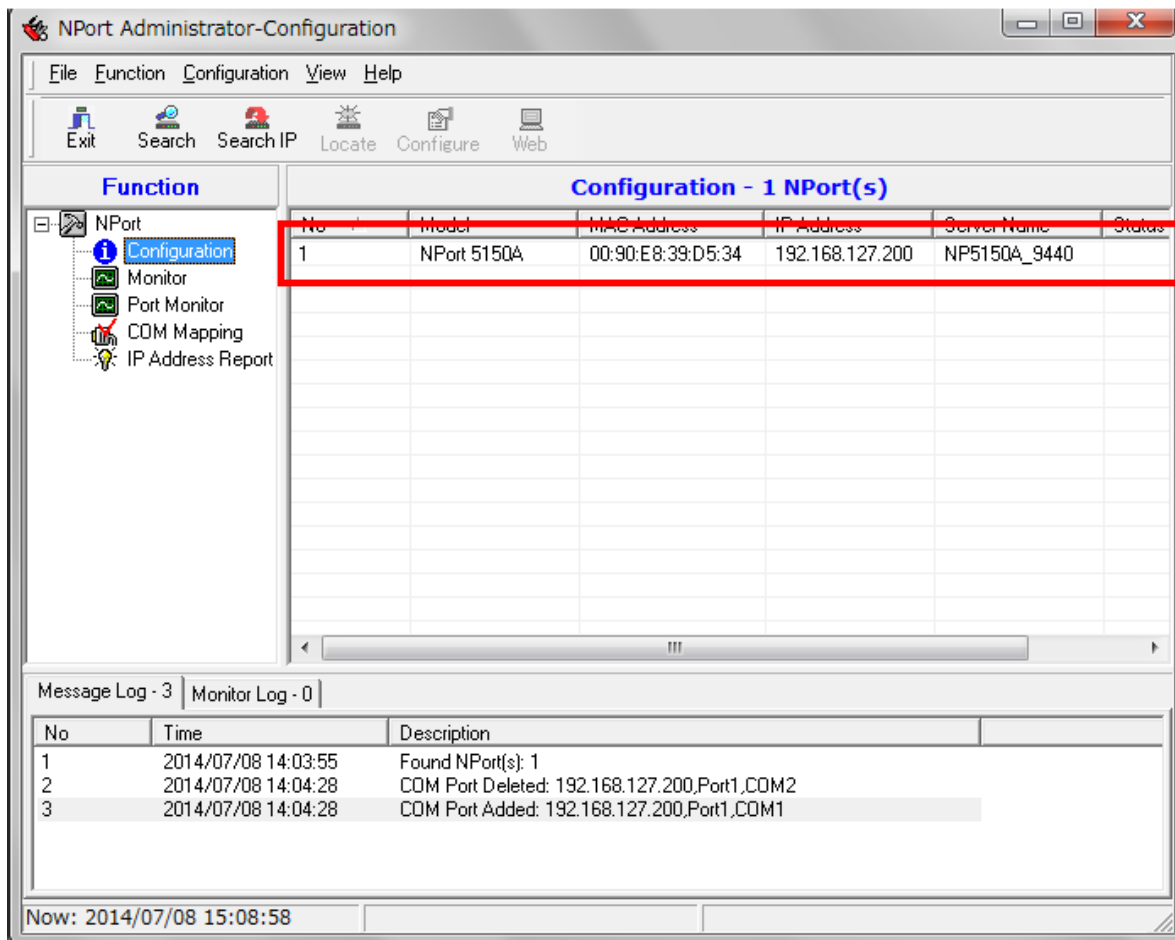
II. ソフトウェア準備

1. NPort Administrator を管理者として実行により起動

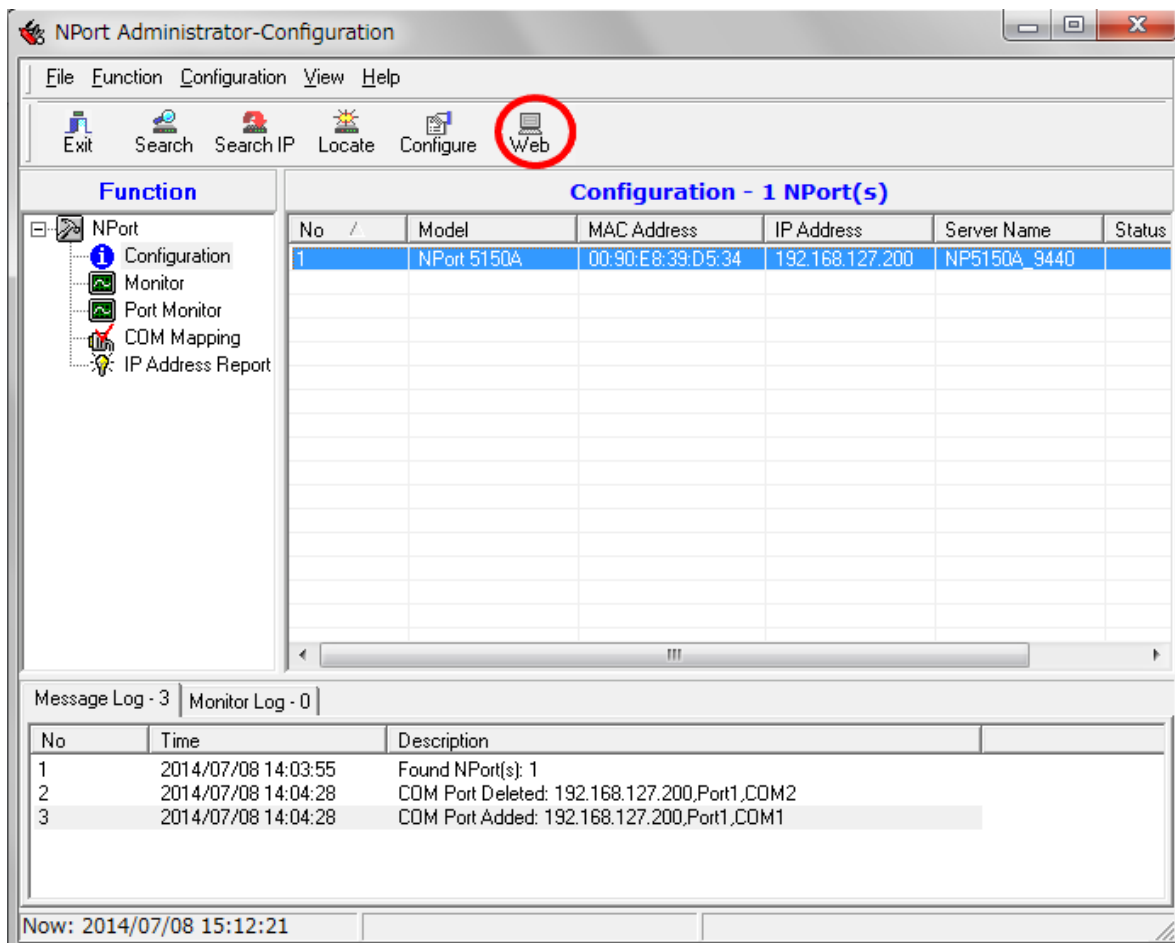
- 右クリック→管理者として実行

-
- The screenshot shows the 'NPort Administrator-Configuration' application window. The title bar includes the application name and standard window controls. The menu bar contains 'File', 'Function', 'Configuration', 'View', and 'Help'. The toolbar below the menu bar has icons for 'Exit', 'Search' (highlighted with a red circle), 'Search IP', 'Locate', 'Configure', and 'Web'. On the left, a 'Function' sidebar lists 'NPort' with sub-items: 'Configuration' (selected), 'Monitor', 'Port Monitor', 'COM Mapping', and 'IP Address Report'. The main workspace is titled 'Configuration - 0 NPort(s)' and contains a table with the following columns: 'No', '/', 'Model', 'MAC Address', 'IP Address', 'Server Name', and 'Status'. The table is currently empty. Below the table is a horizontal scrollbar. At the bottom of the window, there are two tabs: 'Message Log - 0' and 'Monitor Log - 0'. The status bar at the very bottom displays the time 'Now: 2014/07/08 15:04:12'.

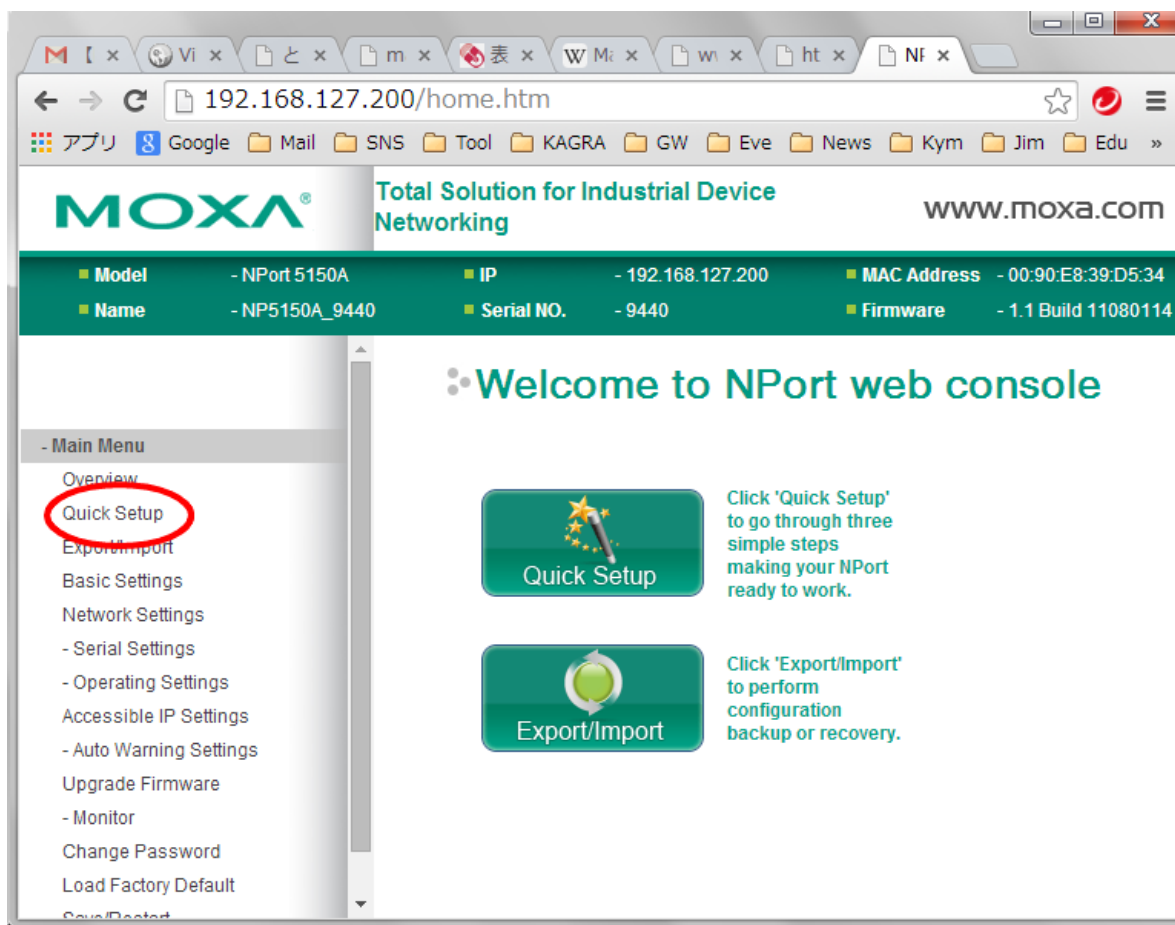
3. 見つかりと図のようにデバイスが追加される



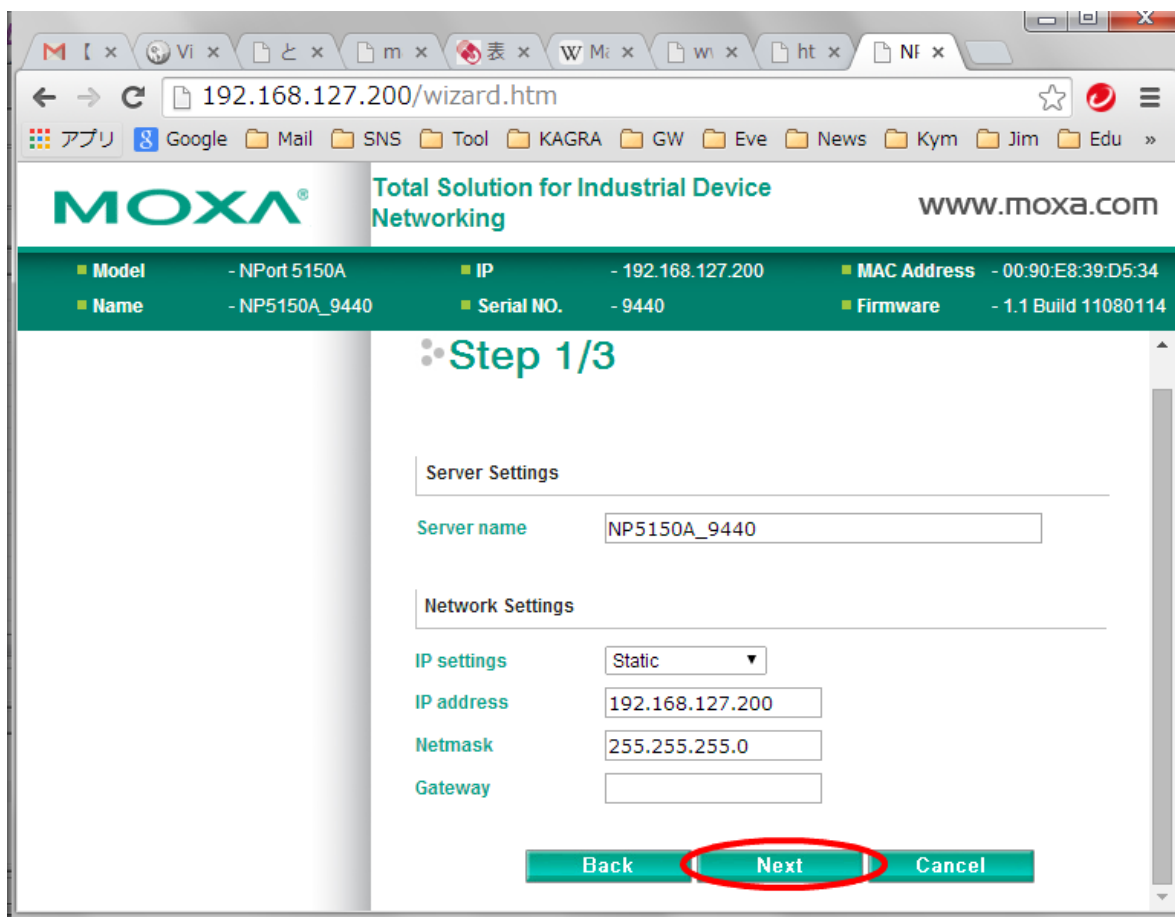
4. 接続先ポートを選択して Web ブラウザを開く。このとき管理者権限で実行していないと Web ブラウザからの設定ができないので注意。



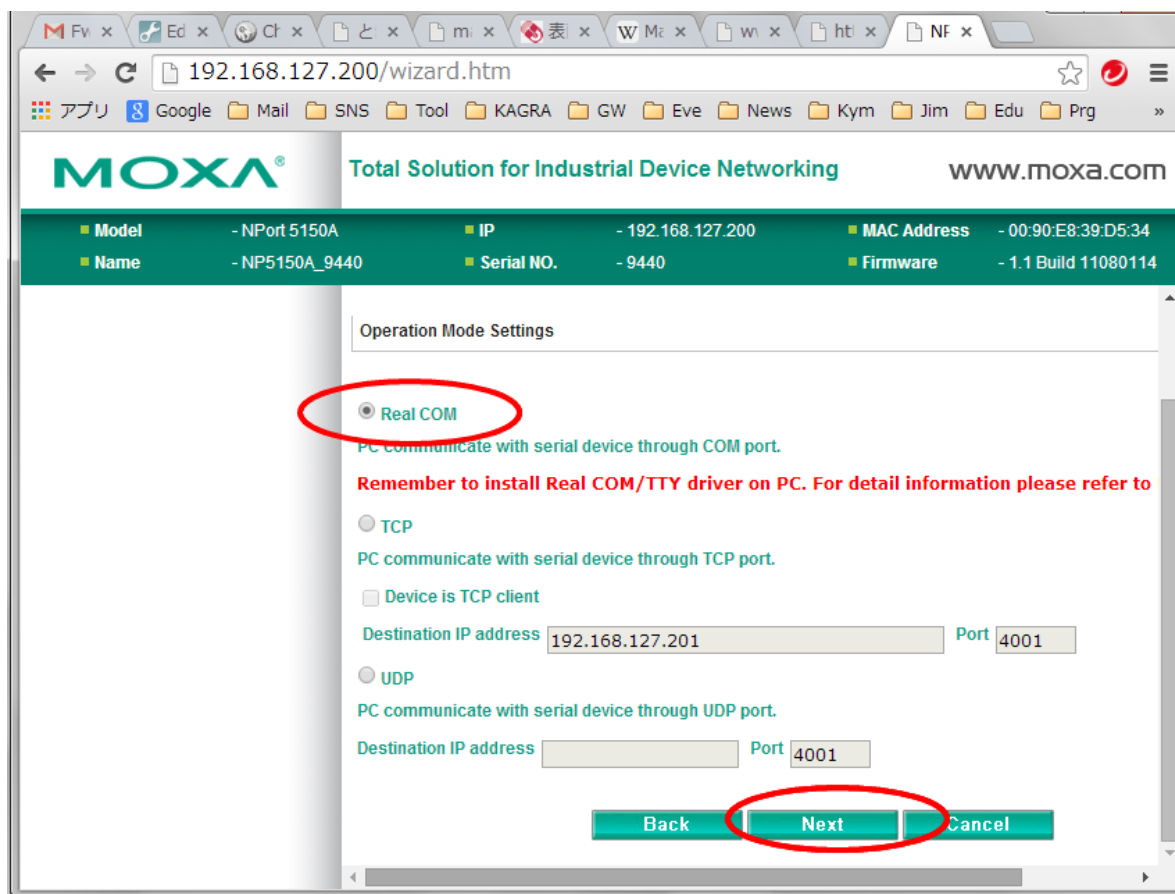
5. Web ページ上の Quick Setup をクリック



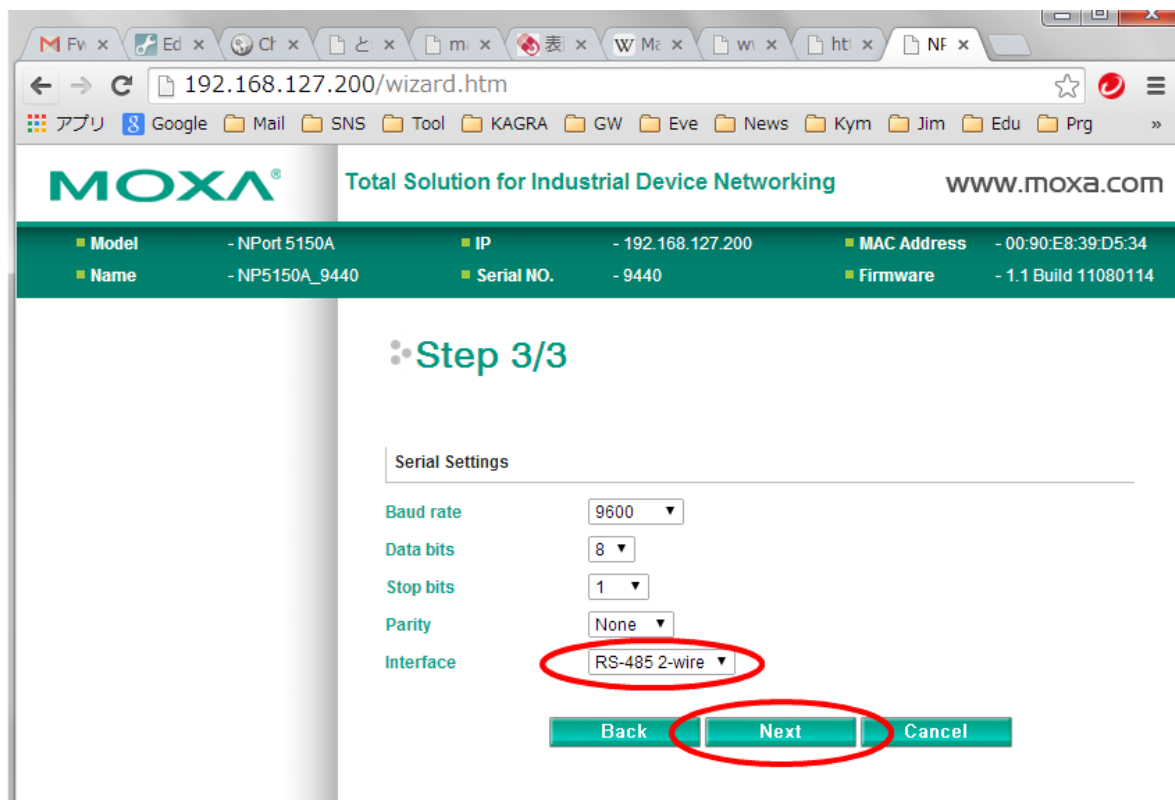
6. IP アドレス等の設定ができる。Next をクリック



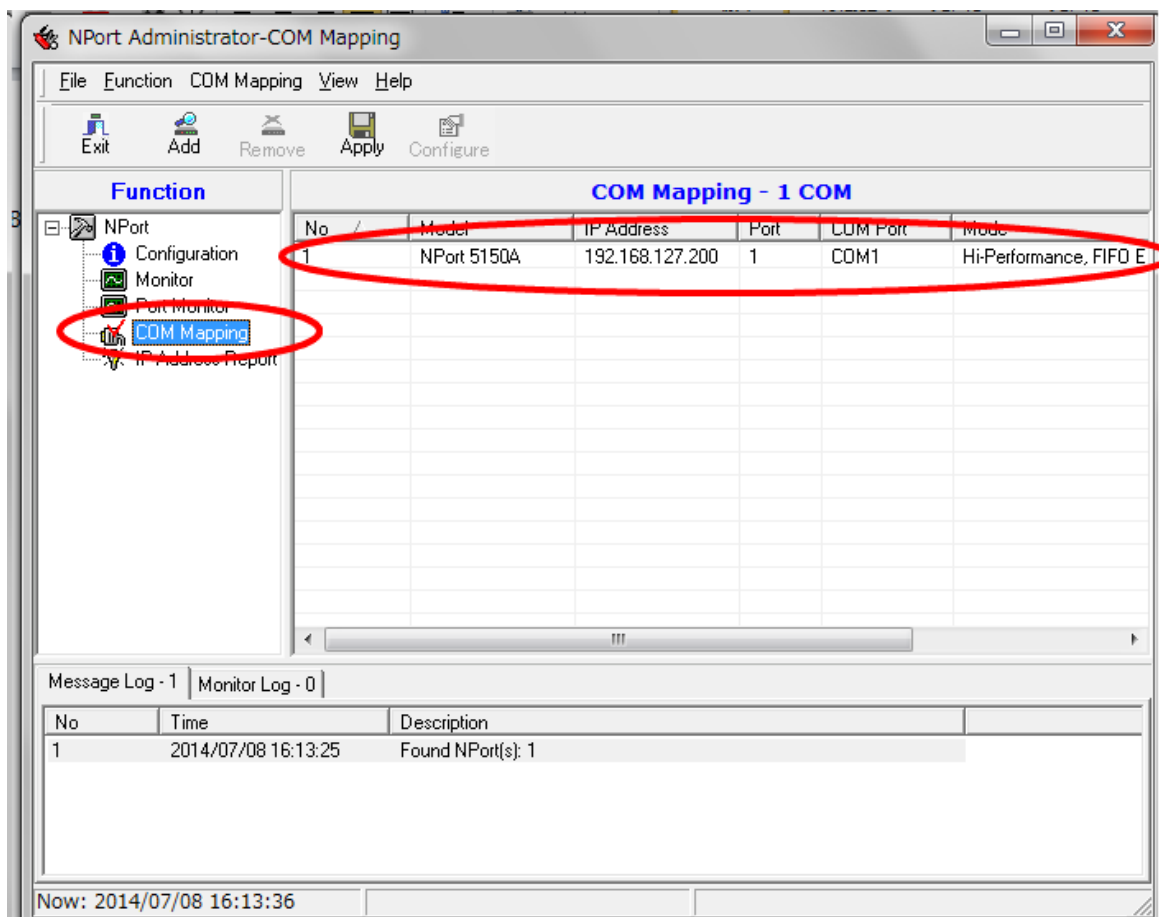
7. Real COM モードに設定する



8. シリアルの設定に移り、以下の値を設定。インターフェースを RS-485-2-wire にして Next をクリック。設定内容を確認したら Save/Restart で反映させる。

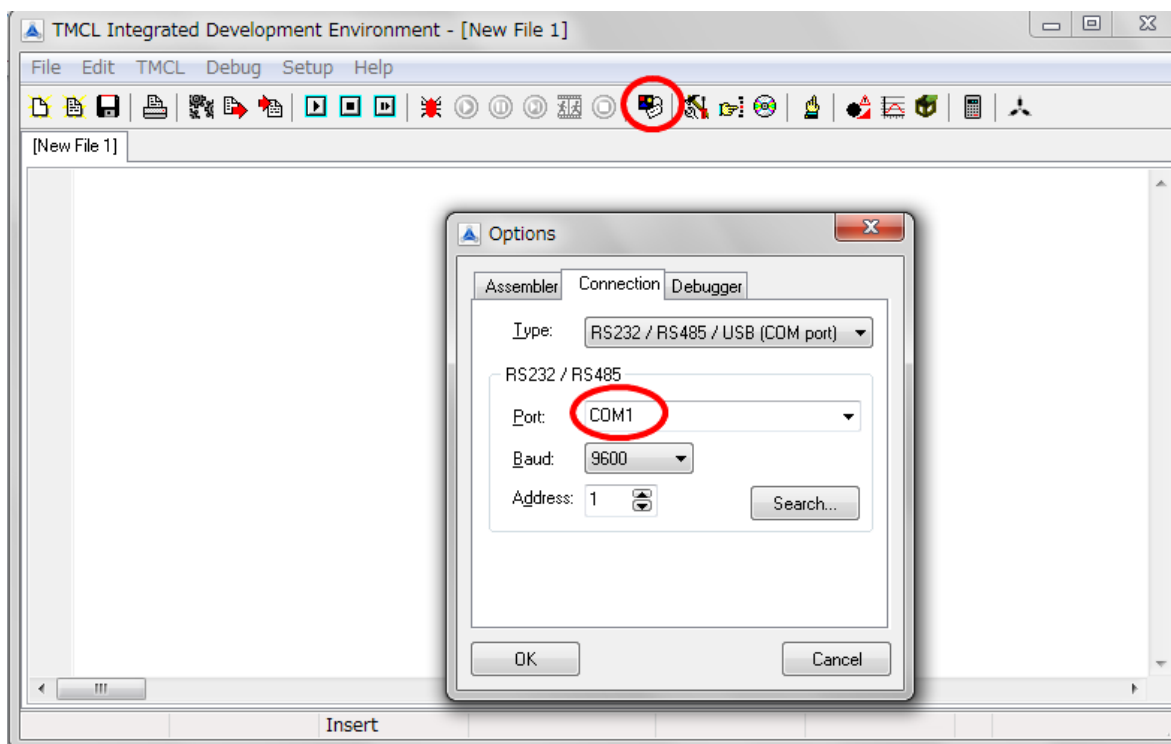


9. NPort Administrator に戻り、COM Mapping のタブにおいて COM Port が設定されていることを確認する。もし設定されていなければ Add をクリックしてポートを追加する。

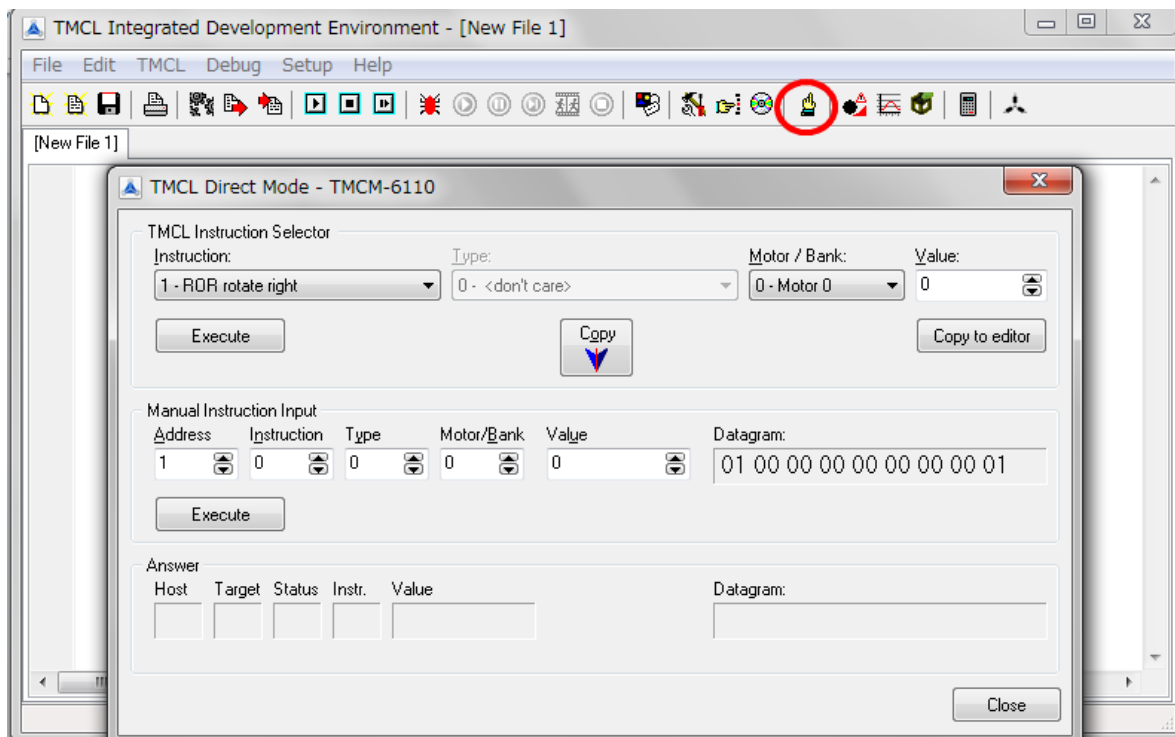


10. TMCL を管理者権限で起動する。

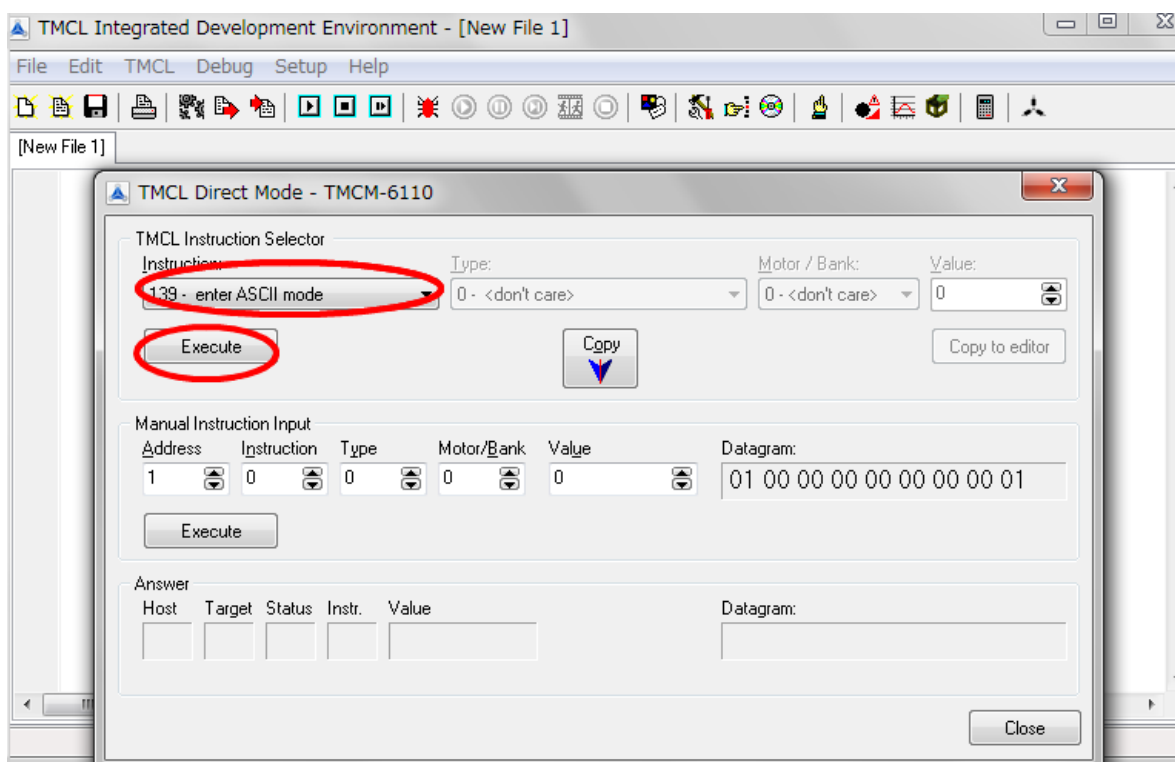
11. 上のアイコンの Option から Connection タブを選び、Port を上で設定した番号に設定する。



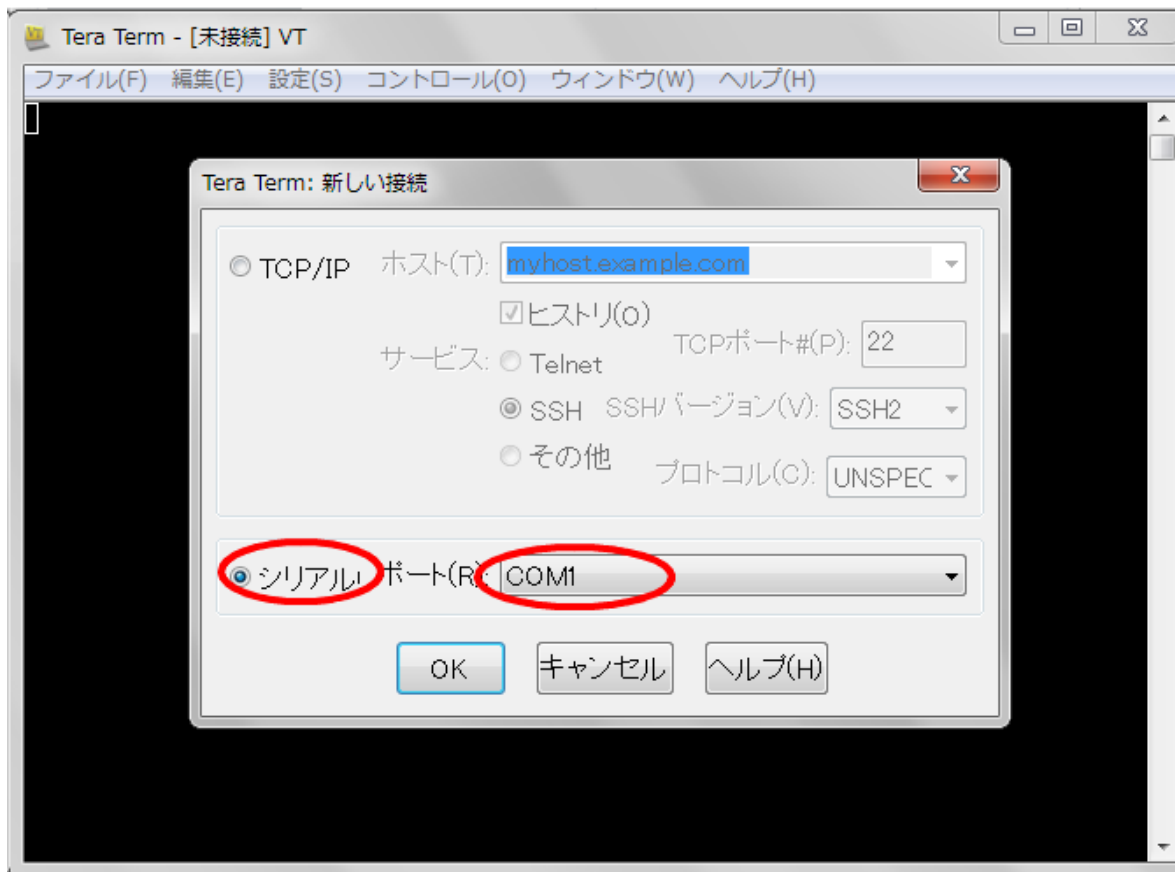
12. Direct mode アイコンをクリックすると以下のウィンドウが起動する。ここからコマンドを選んで実行 (Execute) することでモータを制御することが可能である。



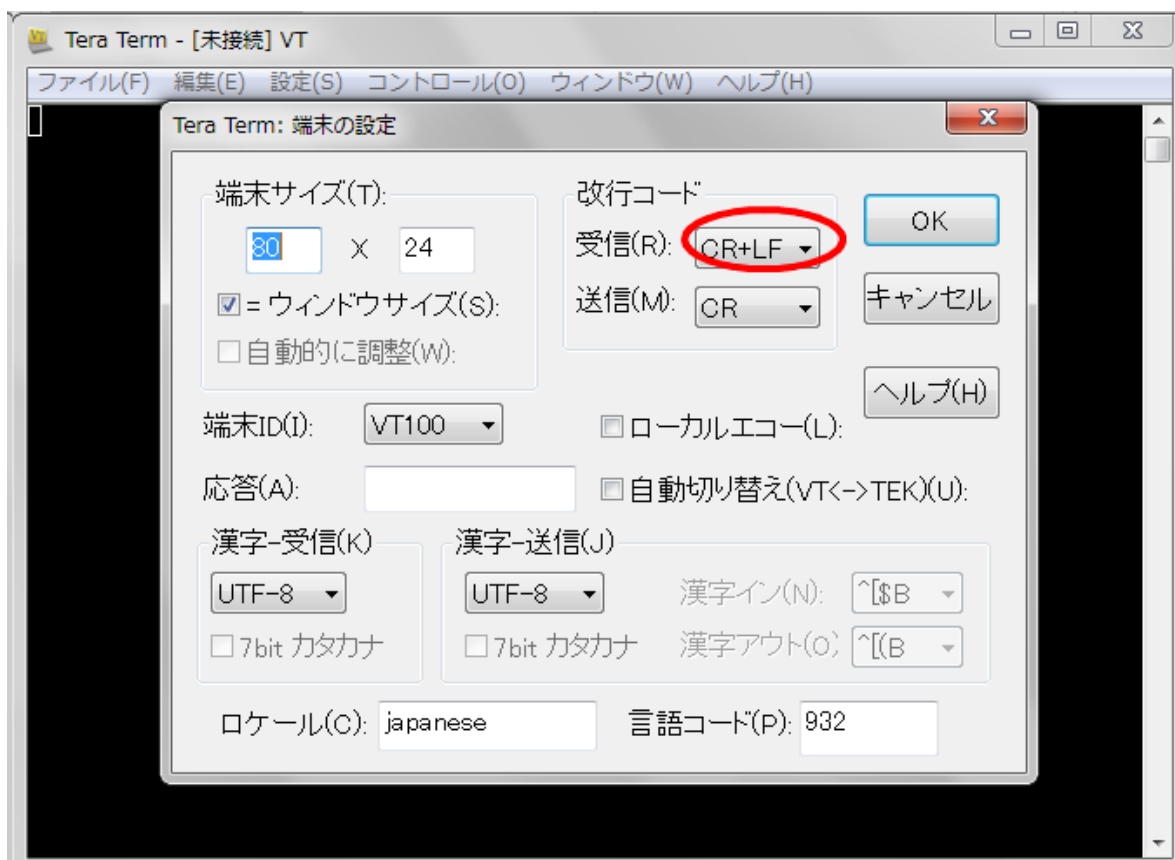
13. ターミナルから操作できるようにするためコマンド#139 の enter ASCII mode を実行する。これ以降、ASCII mode から抜けられない限り direct mode からのコマンドは受け付けなくなり、TeraTerm 等の端末からしか操作できなくなる。



14. TMCL を終了したら、TeraTerm を開き、新しい接続より上で設定したのと同じシリアルポートに接続する。このとき、TMCL を終了してないと接続できないので注意。



15. 設定→端末において受信の改行コードを CR+LF にしておく。これを設定しないとコマンドを打った時に改行されず見づらい。



16. コマンドラインから必要なコマンドを入力しステッピングモータを操作する。

